

2 社会

I 本県が目指す社会科の授業

社会的な見方・考え方を働かせ、社会的事象の意味や意義を考える社会科の学習

II 教材研究の充実

社会科における教材研究のポイントとその具体

中2「近代産業の発展と近代文化の形成」の例

学習指導要領に示された目標及び内容を確認する

子供の視点から

生徒の学習状況の把握

- ・小学校では、伊藤博文などの人物の業績や当時の人々の生活などを基に、明治中期から大正時代にかけて日本の国力が充実し、国際的地位が向上したことを学んでいる。
- ・身近な地域の歴史に関連する社会的事象については、意欲的に追究できる。



教材の視点から

素材の研究

- ・長野県は、桑の栽培に適した地形と養蚕に適した気候だった。また、器械製糸を取り入れ、養蚕や蚕種業の技術開発や改良に力を入れたため、県内各地には養蚕業や製糸業に関連した施設や設備などの近代化遺産がある。
- ・「生糸で軍艦を買う」と言われたほど、製糸業は外貨獲得の手段であり、殖産興業や富国強兵を進める日本にとって重要な役割を果たしていた。



教材化の研究

- ・単元(図1)の流れを確認し、小単元(図2)で育成する資質・能力を明確にしたり、生徒の思考を予想し、小単元の学習問題や学習活動等を具体的に構想したりする。
- ・当時の人々が現金収入として頼りとした生糸の実物を提示したり、明治時代に完成した県歌「信濃の国(3番)」の歌詞に着目し、その細さが「軽からぬ」や「国の命を繋ぐ」と言われた意味について考える場面を設けたりすることで、製糸業を中心とした産業の発展に意識を向けることができるようにする。
- ・生徒から出された予想を分類し、追究の視点を明確にすることで、製糸業の発展が経済や人々の生活に与えた影響を調べることができるようにする。

図1 単元「近代の日本と世界」

単元の問い	近代の日本はどのような時代だったのだろうか？
←	① 欧米諸国の近代化はアジアにどのような影響を与えたのだろうか
←	② 明治政府はどのような国づくりを目指したのだろうか
←	③ 日本における立憲制の成立は、どのような意義があったのだろうか
←	④ なぜ、生糸が「国の命を繋ぐ」と言われていたのだろうか
←	⑤ 第一次世界大戦は、なぜ起きてどのような影響があったのだろうか
←	⑥ なぜ、第一次世界大戦の反省は生かされなかったのだろうか
単元のまとめ	近代の日本は.....時代であった。

図2 小単元「近代産業の発展と近代文化の形成」

①	明治・大正期に生糸が日本最大の輸出品であったことを捉え、学習問題を設定する
小単元の学習問題	なぜ、生糸が「国の命を繋ぐ」と言われていたのだろうか
②~④	問いを設定し、複数の資料を用いて各自で調べたり話し合ったりしながら考える ○明治から大正にかけて、工場はどこにどれくらい増えたのだろうか ○鉄道の広がり、出荷量にどのような影響を与えたのだろうか ○輸出相手国との関係は、開国後と比べてどのように変化したのだろうか ○製糸業の発展は、その後の産業や人々の生活にどのような影響を与えたのだろうか
⑤	調べたことを基に、近代社会の変化の様子を考察し、まとめる

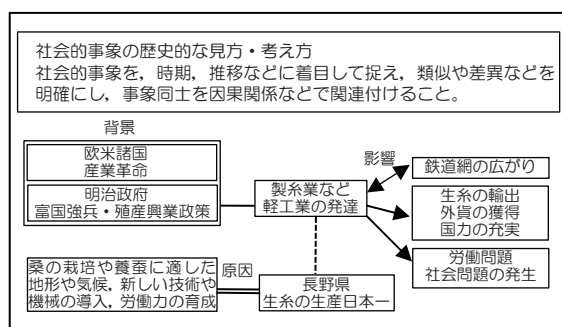
学習の過程の視点から

主体的・対話的で深い学び

【主体的な学び】問題解決への見通しをもつために、学習問題に対して予想し、それを確かめるためにはどのようなことを調べればよいかを考える場面を設ける。

【対話的な学び】自己の考えを広げたり深めたりするために、調べた情報をクラウドで共有したり、予想や課題解決に向けて話し合ったりするなど、生徒同士が協働して追究する場面を設ける。

【深い学び】歴史的な見方・考え方を働かせて、社会的事象を関連付けて考察するために、調べたことを付箋ツールに入力し、背景や原因、影響等を線で結ぶといった活動を位置付ける。(右図参照)



Ⅲ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善例













【学 年】 中学校 第2学年

【単元名】 近代の日本と世界 【小単元名】 近代産業の発展と近代文化の形成（全5時間）

【小単元の評価規準】 内容C (1)ア(エ)イ(ア)(イ)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・我が国の産業革命，この時期の国民生活の変化，学問・教育・科学・芸術の発展などを基に，我が国で近代産業が発展し，近代文化が形成されたことを理解している。	・工業化の進展と社会の変化，近代化がもたらした文化への影響，戦争に向かう時期の社会や生活の変化に着目して，事象を相互に関連付けるなどして，近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。	・近代の日本と世界について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

【主な学習活動と評価計画】 (☆…「評定に用いる評価」，♡…「学習改善につなげる評価」)

時	○学習活動  生徒の意識 ( 端末とクラウドの活用例)	評価の観点			評価方法	授業改善の視点 取組の具体例
		知	思	態		
1	<p>【ねらい】 資料を読み取り，気付いたことや疑問を出し合う中で小単元の学習問題を設定し，予想を基に学習計画を立て，課題解決への見通しをもつ。</p> <p>○明治・大正期に生糸が日本最大の輸出品であったことを捉え，学習問題を設定する。  生糸は日本最大の輸出品で，その30%近くが長野県で生産されていたね。 細かい生糸が「国の命を繋ぐ」とはどのようなことだろう。</p> <p>小単元の学習問題：なぜ，生糸が「国の命を繋ぐ」と言われていたのだろうか。</p> <p>○予想を基に，学習計画を立てる。 製糸業の発展が経済や近代化にどのように影響したのか調べてみたい。  生糸の輸出によって人々の生活がどのように変化したのか調べよう。</p>	♡				<p>気付きや疑問を基に学習問題を設定する 輸出された生糸のうち長野県産が占める割合，県歌「信濃の国」3番の歌詞などの資料を基に，気付いたことや疑問を出し合う場を設けます。</p> <p>予想を基に学習計画を立てる 課題解決の見通しをもてるよう，予想を基に，調べる内容や方法を検討する場を設けます。</p>
	<p>【ねらい】 製糸業の発展が国民生活や文化に与えた影響，貿易や文化による諸外国との関わりに着目して調べることを通して，日本で近代産業が発展し，近代文化が形成されたことを理解する。</p> <p>○各自で学習問題について調べる。  クラウドを活用し，調べたりまとめたりした情報を共有する。  鉄道が敷かれたことで生糸の輸送や工女の移動が盛んになり，各地に数多く作られた製糸工場を中心に地域の経済が発展していったんだ。 新しい機械や技術を導入し生産量を伸ばした日本は，生糸の輸出で得た外貨で軍艦などを買い，国力を向上させたよ。  欧米文化を積極的に受け入れ，学問や技術が発展したことで，近代化が進んだんだ。産業の発展は，社会構造や人々の生活に変化をもたらしたんだね。</p>	♡	♡			<p>歴史的な見方・考え方を働かせ，予想や仮説の検証に向けて追究する 学習計画に沿って，各自で教科書，資料集，タブレット端末を活用して調べたり，友と話し合いながら考えたりする場を設けます。</p> <p>♡スライドにまとめた内容，発言等から，「我が国の産業革命，この時期の国民生活の変化，学問・教育・科学・芸術の発展などを基に，我が国で近代産業が発展し，近代文化が形成されたことを理解しているか」を評価し，学習改善につなげる。(知)</p>
5	<p>【ねらい】 学習したことを基に，近代社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現する。</p> <p>○小単元の学習問題についてまとめる。  付箋ツールを用いて調べた内容を比較したり関連付けたりしながら整理する。  全国有数の生産量であった長野県の生糸は，近代化を進め，欧米列強に負けない国づくりをしようとする日本を支える重要なものだったので，「国の命を繋ぐ」と言われていたんだ。</p>	☆	☆	☆		<p>小単元の学習を生かして考察する 蓄積してきた情報を基に，友と話し合いながら相互の関連や意味を多面的・多角的に考察し，表現する場を設けます。</p> <p>☆ワークシートの記述内容から，「近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現しているか」を評価する。(思)</p>

【小単元のねらいを達成した生徒の姿】 製糸業などの軽工業は，鉄道網の整備や機械化を促すなど，日本の生産力を高める先駆けとなった。経済を発展させることで国力の向上を目指したり，欧米から学問や技術を積極的に受け入れたりして近代化を進める中で人々の生活が変化したことが分かった。